

目標達成計画

事業所名 グループホームつつじ

作成日: 平成 24年 / 月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	ケース記録やチェックシートが多く記録に時間がかかっている。	記録の書き方を工夫し簡潔に短時間の分り易い記録とする。	①記号や○×式でのチェックシートの活用 ②ケース記録は時系列の簡潔に書く ③チェックシートは二重に書くが、特別な状態のみ分り易く書く。	3ヶ月
2	27	近隣や地域との関係を更に強く日常的に関わる機会が手付かずな状況にある。	日常的に関わる機会を多くし地域との交流を深め協力と理解を得る。	①地域の方、近隣に挨拶電話や親しみむる積極的に関わる。 ②ホームの行事予定を把握し参加を願う。	6ヶ月
3	3	重度化や終末期の方針や支援が難しく、家族等に同意書を確認する機会を逃している。	利用開始時に十分説明し同意と理解が得られるように機会を設け家族意志の確認に努める。	①利用開始時に十分説明し同意を得る。 ②状態変化時は家族に連絡相談し意向確認し即時同意書を得る。	3ヶ月
4	10	利用者や家族の意見や苦情を把握し改善に努めているが、改善結果の報告が不足している。	意見や苦情受付時はマニュアルに基づき速やかに改善策を話し合、報告、開示する。	①スタッフ会議やケースカンファレンスを開催し改善策を話し合、経過結果を当事者、家族、運営推進会議に報告する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。